

令和7年度第2回コミュニティ・スクール委員会(清水CS委員会)

会 議 録

1 出席委員等

梶委員長、勝田副委員長、中村委員、堀委員、林委員、小室委員、高委員、嘉藤委員

欠席～長尾委員、中島委員、上出委員、寺岡委員

【事務局】(山下教育長)、本田学校教育課長、安ヶ平社会教育課長、渋谷社会教育課参事、山川教育指導幹、大山教頭、村尾教頭、匂坂副園長、國木主幹教諭、吉田教諭、上出CSコーディネーター

2 場 所 清水小学校 図書室

3 日 時 令和7年10月23日(木)18時30分開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

教育長あいさつ

インフルエンザ等の感染予防に充分注意をいただき、各学校等の活動の取組の説明により子どもたちの変容についてご理解いただきたい。

(副委員長として勝田委員が指名されたので紹介)

梶委員長あいさつ

地域と学校が話し合い、子どもたちがより良い学校生活が送れるよう意見をいただきたい。忌憚のない意見をいただき前向きに検討できればと思う。

説明・協議事項

梶委員長により議事進行

(1)各学校等の実践状況について

学校等の実践状況について資料に基づき、しみず認定こども副園長、清水小学校長、清水中学校長より説明。

小中学校の実践において子どもたちが大きく成長した点についての質問があり、小学校においては、地域に見られていることを意識し当初よりあいさつが良くなり、主体的に考え学ぶ力が付いてきたこと、中学校については、小学校からの引き継がれていることかもしれないが校長室へも躊躇せず来てくれて全体的に非常に性格が

やさしいという感想である、と各校長より説明あり。

(2)意見交換(熟議)

2班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行、記録・発表を担う。

テーマは、小中一貫教育の推進を踏まえて、学校と地域の連携について、これまで出されていた意見を参考に、具体化について話し合う。

A 班

- ・地域として子ども達とのかかわり方について話し合われた。

小学校では大人に見ていてほしく子どもっぽい子どもが多いとの感想だった。地域でできることとすれば、ほめることなどの声かけをすることにより子ども喜ぶのでやってはどうか。まずは登下校時にポイントポイントで立って、あいさつしてみてもどうか。

- ・町内会や地域のイベントを復活させてはどうか。やはり祭り等となると子どもは元気になる。イベントを通し子供たちも地域の人を覚えることとなり、学校開放時に学校をウォーキングするなどの方法も考えられる。

B 班

- ・学び方として、こども自身が選択する(自分に合った量やレベル、友達や先生と協力しながら意見交流する等)ようになればよい。

- ・大人が頑張らせにくい時代になってきているので、向上心をもってやっていけるように自主的に前向きにチャレンジできるように声掛けしたり背中を押してやったりすることが大事であろう。

- ・教員から言えない時代になってきているので、最終的には親が工夫して生きる力を身に付けさせるしかない。方法としてスポーツや文化を通して様々な経験をさせることが大切であろう。経験が少ない子どもにも目を向けることも大切である。

- ・学校に預ければ親は何もしなくてよいのではなく、家庭でも親が背中を見せるなどホローしながら学校と家庭で協力しながら子供たちを導いていけるようにしなければ。

(3)その他

山川教育指導幹より 11 月 27 日開催の「子どもフォーラム」についての周知

梶委員長より閉会あいさつ。(20 時 05 分)

令和7年度第2回コミュニティ・スクール委員会(御影CS委員会)

会 議 録

1 出席委員等

佐々木委員長、細田委員、門木委員、久野委員、大石委員、澤山委員、佐藤委員、
天野委員、金山委員

欠席～口田委員、藤川委員、上谷委員

【事務局】(山下教育長)、本田学校教育課長、太田社会教育課参事、山川教育指導
幹、伊藤教頭、宮脇教頭、久朗津教諭、西教諭、上出CSコーディネー
ター

2 場 所 御影小学校 家庭科室

3 日 時 令和7年10月27日(月)18時30分開会

4 傍聴人数 なし

5 会議内容

山下教育長あいさつ

中学校の文化祭やこども園の発表会もそれぞれ終わったが、子供たちの成長の姿を多くの方に観てもらい感謝を申し上げたい。先日中学校で十勝清水学として町長と未来を考えると子どもたちから提言をもらい、良い学習の機会となった。また、子どもフォーラムで提言の機会もあり期待している。本日は中間報告となるが、成果と課題に関しご意見をいただきたい。

佐々木委員長あいさつ

職場体験などで子どもたちには地域を知ってもらい就職などにより地域がより発展できればと考えるので、各委員の様々な立場で協力をお願いしたい。

※欠員であった副委員長として澤山委員を委員長より指名あり。全体で了承。

説明・協議事項

(1)各学校等の実践状況について

学校の実践状況について資料に基づき、御影こども園長、御影小学校長、御影中学校長より説明

質問・意見無し

(2)意見交換(熟議)

2 班に分かれ、それぞれ事前指定者が進行・記録・発表を担う。ただし、A 班口田委員欠席により A 班の司会進行を久野委員に、B 班上谷委員欠席により B 班司会進行を伊藤御影小教頭がそれぞれ担う。

テーマは、小中一貫教育の推進を踏まえて、学校と地域の連携について、これまで出されていた意見を参考に、具体化について話し合う。

A 班

- ・十勝清水学を小学校から中学校へつなげていくために地域の人材を求めたい。
- ・折角 CS で話し合ってもなかなか形にならないので、今やっていることを拡充していつてはどうか。そのために具体的には子どもたちの意見を聞いてみたい。
- ・CS 委員会として年度当初に子どもの意見を取り入れてはどうか。
- ・新たなことを実施するには学校としても時間的に厳しいので、新しいことの実施というより、今までの取り組みを工夫して熟成させる方法が良いのでは。

B 班

- ・昔は行事を通して、地域と子どもがつながっていたので昔の行事を復活させてはどうか。だが、子どもも大人も忙しいので、子どもの意見も吸い上げ一つでもかなうと当事者意識が向上するのではないか。
- ・地域の理解が不可欠であり、目的を明確にし、本当に必要なことをまずやることが大事。
- ・10 年後の御影を考えられる子どもたちにするために、こどもの数も減っていくのでそれに合わせ、中学生を小学校校舎に集合させ、同一校舎で小中一貫を進め、地域人材を活用し授業を進めてはどうか。

(3)その他

山川教育指導より 11 月 27 日開催の「子どもフォーラム」についての周知

佐々木委員長より閉会あいさつ。(20 時 00 分)